

出水市が使った **お金** について

～ 『一般会計』、『特別会計』、『企業会計』の

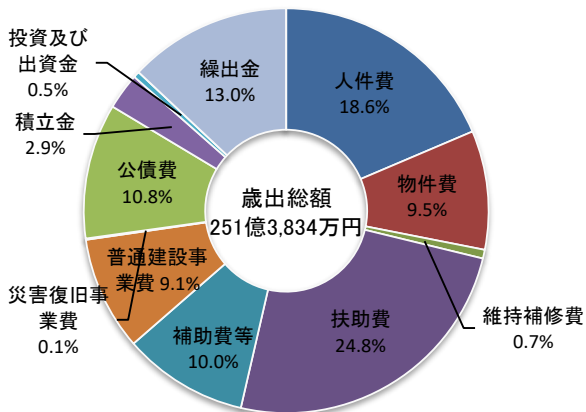
歳 出

歳出決算の内訳 性質 別の区分 (何の費用として使ったか)		
区 分	2018年度決算額	2017年度決算額
人件費	46億6,713万円	46億3,968万円
物件費	24億483万円	23億4,230万円
維持補修費	1億7,096万円	1億5,977万円
扶助費	62億2,732万円	61億7,611万円
補助費等	25億683万円	25億2,719万円
普通建設事業費	22億9,096万円	44億3,250万円
災害復旧事業費	1,382万円	1,284万円
公債費	27億2,198万円	27億9,025万円
積立金	7億1,909万円	3億9,018万円
投資及び出資金	1億3,262万円	1億5,236万円
貸付金	0万円	4億0万円
繰出金	32億8,280万円	33億5,017万円
歳出合計	251億3,834万円	273億7,335万円

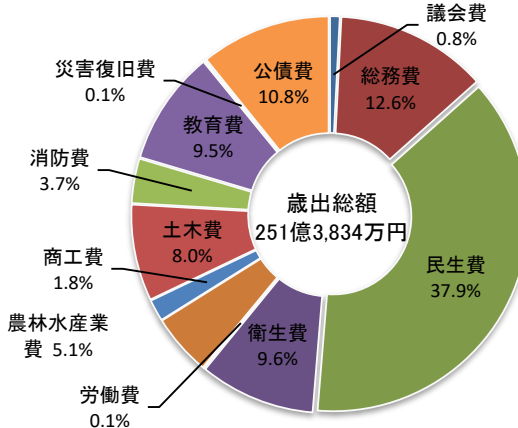
歳出決算の内訳 目的 別の区分 (どの分野に使ったか)		
区 分	2018年度決算額	2017年度決算額
議会費	1億9,348万円	2億1,365万円
総務費	31億5,928万円	29億2,763万円
民生費	95億2,655万円	97億8,456万円
衛生費	24億1,602万円	30億6,309万円
労働費	2,203万円	2,283万円
農林水産業費	12億8,497万円	28億9,597万円
商工費	4億6,235万円	3億3,068万円
土木費	20億468万円	22億4,033万円
消防費	9億2,952万円	6億9,606万円
教育費	24億459万円	23億9,579万円
災害復旧費	1,289万円	1,251万円
公債費	27億2,198万円	27億9,025万円
諸支出金	0万円	0万円
歳出合計	251億3,834万円	273億7,335万円






※ 各性質の内容についてはページの用語説明欄をご覧ください。

性質別



目的別



その他の経費	公債費	教育費	消防費	土木費
1万2,981円 2.8%	5万1,152円 10.8%	4万5,188円 9.5%	1万7,468円 3.7%	3万7,673円 8.0%
議会活動、商業、観光、災害復旧など	借金の返済	教育や生涯学習の推進	消防、救急業務	道路、公園、住宅の整備など
◆ 議会運営 ◆ 商業の振興 ◆ 観光業の振興 ◆ 災害復旧事業	◆ 市の借金(市債)の返済費用	◆ 市立の学校、幼稚園などの維持経費 ◆ 商業高校の維持経費 ◆ 生涯学習の推進 ◆ 図書館の管理運営 ◆ 青年の家の運営 ◆ スポーツの振興、スポーツ施設の管理	◆ 消防業務 ◆ 救急業務 ◆ 防災対策事業	◆ 市道の整備、維持管理 ◆ 公園の整備、維持管理 ◆ 公営住宅の整備、維持管理
				

わかりやすく

お知らせします！

2018年度決算について ~



『一般会計』の決算は次のとおりです。

一般会計決算の状況

区分	2018年度	2017年度	増減額
歳入	265億5,174万円	285億7,159万円	△20億1,985万円
歳出	251億3,834万円	273億7,335万円	△22億3,501万円
差引	14億1,340万円	11億9,824万円	2億1,516万円
翌年度繰越財源	3億3,677万円	2億6,092万円	7,585万円
実質収支	10億7,663万円	9億3,732万円	1億3,931万円

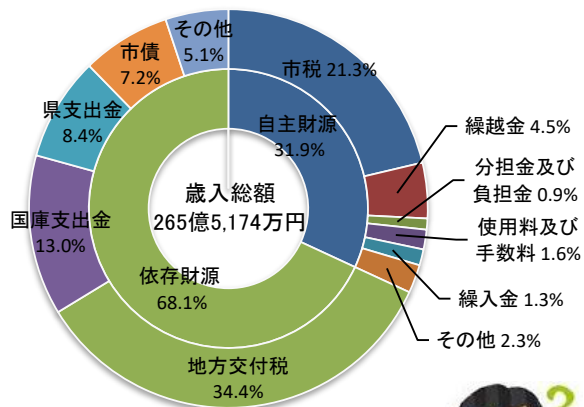
この額から翌年度への繰越財源3億3,677万円を除くと、実質収支は1億7,000万円となり、2017年（平成29年）の実質収支と比べると1億3,931万円の増となりました。

2018年度（平成30年度）一般会計の決算は、歳入総額2億5,174万円、歳出総額2億3,834万円、歳入総額から歳出を引いた差引額は1億1,340万円となり、繰越金は4億5,174万円、繰越金及び負担金は2億2,940万円、使用料及び手数料は4億4,201万円、繰入金1.3%、その他2.3%、

歳入

歳入決算の内訳

区分	2018年度決算額	2017年度決算額
自主財源		
市税	56億4,473万円	55億8,284万円
繰越金	11億9,824万円	7億8,010万円
分担金及び負担金	2億2,940万円	2億5,562万円
使用料及び手数料	4億2,992万円	4億4,201万円
繰入金	3億4,085万円	4億743万円
その他	6億436万円	6億5,175万円
依存財源		
地方交付税	91億4,915万円	93億5,567万円
国庫支出金	34億5,305万円	38億199万円
県支出金	22億2,190万円	38億380万円
市債	19億2,310万円	21億6,750万円
その他	13億5,704万円	13億2,288万円
自主財源合計	84億4,750万円	81億1,975万円
依存財源合計	181億424万円	204億5,184万円
歳入合計	265億5,174万円	285億7,159万円



一般会計の決算って、『市民1人当たり』では、どのくらいお金を使っているの？

農林水産業費	衛生費	民生費	総務費	使用額割合
2万4,148円 5.1%	4万5,403円 9.6%	17万9,026円 37.9%	5万9,371円 12.6%	
農林水産業の振興	市民の健康維持・健康増進	高齢者、子ども、障害者などの福祉サービス	市の運営事務など	主な使い道
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 農業施設などの整備 ◆ 森林整備事業（除間伐事業など） ◆ 林道、農道などの整備 ◆ 生産基盤整備などの県営事業負担金 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ゴミやし尿の処理 ◆ 子ども医療費の助成 ◆ 各種予防接種 ◆ 母子保健事業 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 高齢者への生活支援 ◆ 障害者への生活支援 ◆ 保育所等の運営 ◆ 生活保護費の支給 ◆ 児童手当の支給 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 庁舎や土地などの財産管理 ◆ 自治会、地域の活性化事業 ◆ 行政改革への取り組み ◆ 税務事務 ◆ 各種選挙の実施 	

算額は2億5,174万円、これは2018年度の一般会計の歳出額に換算すると、4億1,340万円に相当することになります。このお金の使われな

※2019年3月31日現在の人口5万3,213人を1人当たり基礎として計算してあります。

『特別会計』の決算は次のとおりです。

『特別会計』とは、地方公共団体が特定事業の収入をその事業の支出に充て経理を行う会計で、一般会計とは切り離して考えます。

特別会計名	歳入	歳出	差引額	主な事業の内容
国民健康保険	77億 863万円	76億6,705万円	4,158万円	自営業者や農林水産業者などが加入する医療保険を運営するためのもの
後期高齢者医療	6億4,577万円	6億4,427万円	150万円	75歳以上の高齢者等の医療保険を運営するためのもの
介護保険	61億3,645万円	59億 673万円	2億2,972万円	介護保険を運営するためのもの
交通災害共済	2,000万円	876万円	1,124万円	交通事故で死傷した場合に見舞金を支払う共済制度を運営するためのもの
下水道	11億5,387万円	11億4,758万円	629万円	出水地域の生活雑排水等を浄化処理するためのもの
特定環境保全 公共下水道	4億8,168万円	4億8,168万円	0万円	高尾野地区域の生活雑排水等を浄化処理するためのもの
農業集落排水	2億7,032万円	2億7,032万円	0万円	野田地域・江内地域の生活雑排水等を浄化処理するためのもの
地方卸売市場	2,041万円	2,041万円	0万円	出水市公設地方卸売市場の施設管理を行うためのもの

『企業会計』の決算は次のとおりです。

出水市の企業会計には、『水道事業』と『病院事業』の2つの会計があります。



水道事業



病院事業

項目		2018年度	2017年度
収益的収入および支出	収入	8億3,570万円	8億3,290万円
	支出	7億5,784万円	7億6,983万円
資本的収入および支出	収入	1億7,043万円	1億5,705万円
	支出	5億 482万円	5億2,070万円
※ ¹ 当年度純利益		6,411万円	4,459万円
当年度未処分利益剰余金		8,761万円	5,109万円
現金預金期末残高		10億5,256万円	10億6,673万円

項目		2018年度	2017年度
収益的収入および支出	収入	43億9,097万円	45億2,064万円
	支出	44億 845万円	46億9,348万円
資本的収入および支出	収入	2億2,437万円	6億1,866万円
	支出	7億5,110万円	7億3,393万円
※ ¹ 当年度純利益		△1,851万円	△1億7,387万円
※ ² 当年度未処理欠損金(当年度繰越欠損金)		△18億9,532万円	△81億9,134万円
現金預金期末残高		4億5,809万円	8億 820万円

収益的収支: 企業の経営活動に伴う経常的な収支で、収入はサービスの提供による料金などで、支出は施設を維持管理するために必要な費用、人件費、減価償却費、借入金の支払利息などです。

資本的収支: 企業の建設改良事業に伴う収支で、収入は工事負担金や借入金である企業債などで、支出は施設を整備充実させるために必要な工事費、人件費、企業債の元金償還金などです。

当年度未処分利益剰余金: 前年度繰越利益剰余金(または繰越欠損金)に当年度の純利益(または純損失)等を加減した額です。(当年度未処理欠損金)

※¹ 当年度純利益には消費税が含まれていないため、収益的収入および支出の差額と当年度純利益は一致しません。

※² 病院事業の2018年度の当年度繰越欠損金については、資本金の一部を減額し、未処理欠損金に充て、資本構成の健全化を図ったことにより、前年度と比較して大きく減少しています。

病院事業についての詳しい内容については、出水総合医療センター広報誌『ひまわり』に掲載予定ですのでご覧ください。

一般会計の決算額を、『家計簿』にしてみました！

出水市の財政状況をわかりやすく理解してもらうために、2018年度の一般会計の決算額を1万分の1にして、家計簿に置き換えました。

収入

合計 265万5,174円

決算額：265億5,174万円

○ 給料 ※労働・サービスなどの代わりにもらうお金 → 市税、負担金など	58万7,413円
○ 家賃収入 ※土地や建物などの財産により得る収入 → 使用料、財産収入	5万4,366円
○ 銀行からの借入 → 市債	19万2,310円
○ 預貯金の取り崩し → (基金などからの)繰入金	3万4,085円
○ 家族からの仕送り ※足りない分を家族が援助するお金 → (国からの)地方交付税、各種交付金	105万 619円
○ 各種手当、補助金など ※特定の条件により県などから入るお金 → 国庫支出金、県支出金	56万7,495円
○ その他の臨時収入 ※臨時的に入るお金 → 手数料、寄付金、繰越金、諸収入	16万8,886円

支出

合計 251万3,834円

決算額：251億3,834万円

○ 食費、光熱水費、生活用品 → 人件費、物件費	70万7,196円
○ 医療費、教育費 → 扶助費	62万2,732円
○ 各種会費など ※自治会や習いごとの会費 → 補助費等、投資及び出資金	26万3,945円
○ 家や車の修理代 → 維持補修費、災害復旧事業費	1万8,478円
○ 財産の購入 ※家の建築、車や家電製品などの購入に必要なお金 → 普通建設事業費	22万9,096円
○ 預貯金 → 積立金	1万1,909円
○ 家族への仕送り ※親や子どもの生活を援助するお金 → 貸付金、繰出金	32万8,280円
○ ローンの返済 → 公債費	21万2,198円



用語説明



- 人件費**
職員の給与や議員の報酬などの経費
- 物件費**
施設の管理や物品の購入のための経費
- 扶助費**
市が市民の生活などを援助するために、市民や団体にお金や物品を提供するための経費
- 補助費等**
市が他の地方公共団体や民間に対して行う現金的給付に係る経費。報償金、保険料、補助金、負担金など
- 普通建設事業費**
道路、学校、公園などの公共施設を建設するための経費
- 繰出金**
一般会計から特別会計などの一般会計以外の会計に支出するための経費
- 公債費**
市の借金(市債)の返済のための経費



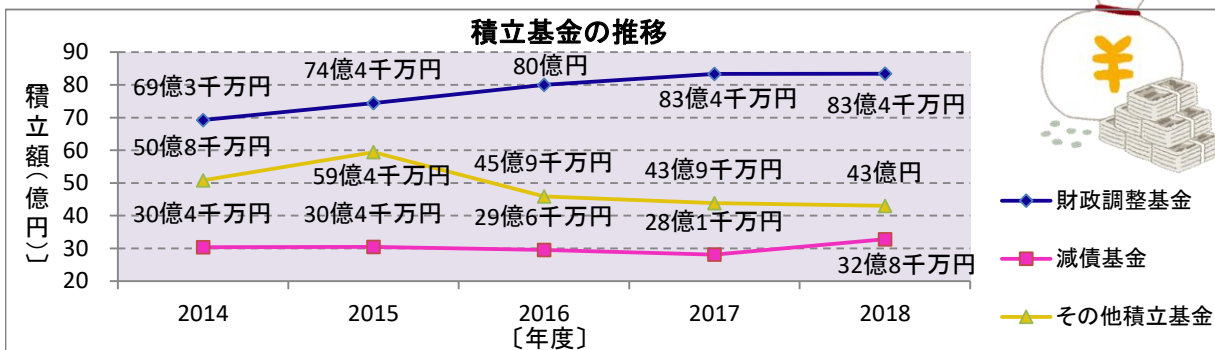
出水市はこんな **財産** を持っています！

市も一般家庭と同じように土地や建物、自動車、預貯金などの『財産』や『借金』を持っています。これらの財産や借金について、2019年3月31日現在の状況をお知らせします。

『財産』の状況は次のとおりです。

区分	2018年度末現在高	備 考
土地 (うち山林)	3,281万6,396㎡ (2,853万4,895㎡)	土地のうち、主なものは山林です。 
建物	32万4,026㎡	建物のうち、主なものは学校、公園、住宅などの施設です。 
有価証券	4,588万円	市が保有している株券です。
出資金	1億 382万円	各種協会等への出資金です。
貸付金	15億7,470万円	特定事業のために市民や別会計の事業にお金の貸し付けを行っているものです。
車両	169台	市が保有している公用自動車や消防車両などです。
基金	206億5,569万円	一般家庭の預貯金に相当するもので、19の基金があります。
積立	159億2,537万円	計画的に積み立て、赤字になりそうなときに取り崩したり、特定の事業を行うための基金。
果実運用	32億4,450万円	原資は取り崩さず、その利息を使って事業を行う基金。
定額運用	9億1,941万円	一定の資金を原資に、土地を購入したり、貸付けを行う基金。
特別会計	5億6,641万円	特別会計が積み立てている基金。主に国民健康保険基金。

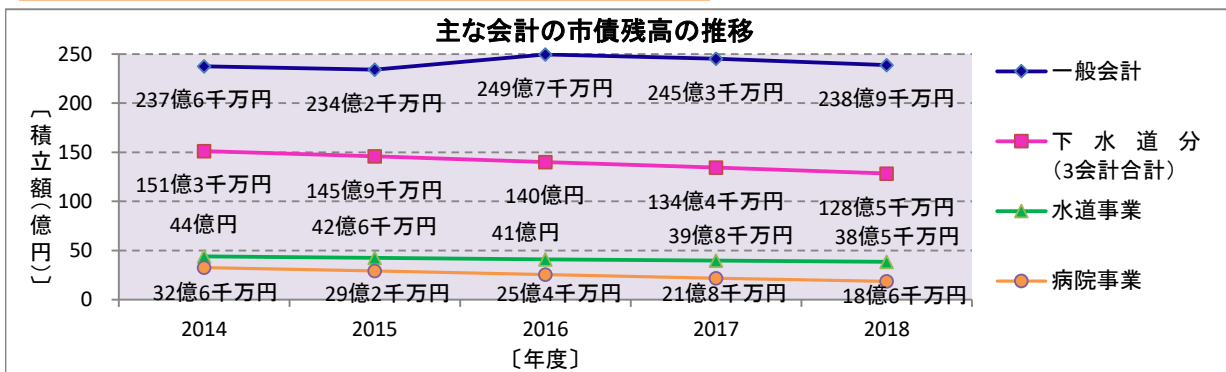
財産のうち、積立基金の積立額の推移は、次のグラフのとおりです。



『借金(市債)』の状況は次のとおりです。

会計名	2018年度末現在高	2017年度末現在高	増減額	
一般会計	238億8,957万円	245億2,715万円	△6億3,758万円	
下水道分	下水道特別会計	70億 572万円	73億5,242万円	△3億4,670万円
	特定環境保全公共下水道特別会計	43億8,303万円	45億5,008万円	△1億6,705万円
	農業集落排水特別会計	14億5,657万円	15億3,986万円	△8,329万円
地方卸売市場特別会計	7,544万円	9,265万円	△1,721万円	
企業会計	水道事業	38億5,203万円	39億7,653万円	△1億2,450万円
	病院事業	18億6,205万円	21億8,022万円	△3億1,817万円

主な会計の市債残高の推移は、次のグラフのとおりです。



財政の『健全化判断比率』について

地方公共団体の財政破綻を未然に防ぐため、2007年6月に財政の健全性をチェックする「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」が制定され、2007年度決算から財政の健全化に関する指標（健全化判断比率、資金不足比率）を作成し、公表しています。
本市の2018年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率は次のとおりです。

指標	2018年度	2017年度
実質赤字比率	—	—
連結実質赤字比率	—	—
実質公債費比率	8.5	8.1
将来負担比率	—	—
資金不足比率	—	—
水道事業会計	—	—
病院事業会計	—	—
地方卸売市場特別会計	—	—
下水道特別会計	—	—
特定環境保全公共下水道特別会計	—	—
農業集落排水特別会計	—	—

『実質公債費比率』とは、借金返済のためのお金が、通常見込まれる収入に占める割合のことです。
低いほうがいいですよ！



用語説明と解説

○実質赤字比率

一般会計の歳入から歳出を差し引いた額が赤字になる場合に、この赤字額が標準財政規模（地方公共団体が標準的な状態で、通常見込まれる収入の規模）に占める割合です。

出水市では、歳入から歳出を差し引いた額がプラスなので、実質赤字比率は算出されていません。

○連結実質赤字比率

実質赤字比率を、公営企業会計などを含めた全会計をもとに算出した場合の割合です。本市では、全会計において歳入から歳出を差し引いた額がプラスなので、連結実質赤字比率は算出されていません。

○将来負担比率

この先、負担しなければならないお金が、通常見込まれる収入に占める割合のことです。将来の財政を圧迫する可能性を示します。本市では、基金（預貯金）積立額の増加などにより、将来負担比率は算出されていません。

○資金不足比率

公営企業会計ごとに算出されるもので、当該会計に資金の不足額がある場合に、その不足額が料金収入の規模に占める割合です。本市では、2017年度各公営企業会計に資金不足が生じなかったことから、資金不足比率は算出されていません。

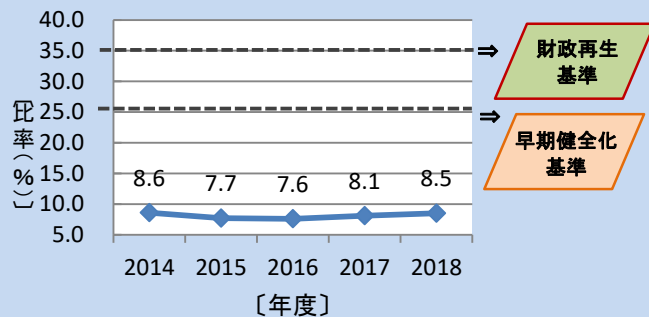
○早期健全化基準

この基準以上になると、早期に改善が必要とされ、財政健全化計画を策定し健全化を行います。いわゆるイエローカードです。

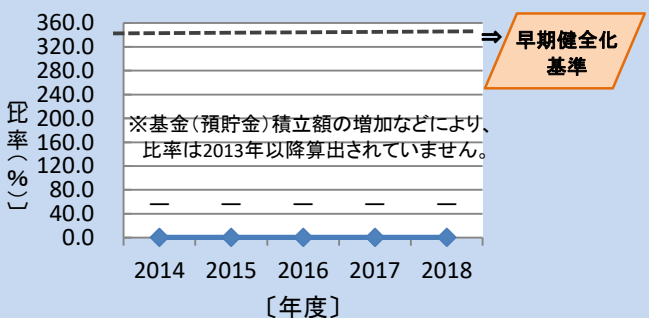
○財政再生基準

この基準以上になると、財政再生計画の策定が義務付けられ、借金などが国の管理下に置かれるため、自主的な財政運営ができなくなります。いわゆるレッドカードです。

実質公債費比率の推移



将来負担比率の推移



近隣市および類似団体の状況

近隣市及び類似団体の2017年度の実質公債費比率と将来負担比率は次のとおりです。

＜ 近 隣 市 ＞				＜ 類 似 団 体 ＞			
	人口 (人)	実質公債費比率	将来負担比率		人口 (人)	実質公債費比率	将来負担比率
出水市	53,758	8.1	—	日置市	49,249	5.7	17.7
阿久根市	21,198	6.9	—	日南市 (宮崎県)	54,090	10.3	87.7
いちき串木野市	29,282	9.9	87.0	日向市 (宮崎県)	61,761	11.4	82.2
伊佐市	26,810	8.8	—	荒尾市 (熊本県)	53,407	9.3	—
水俣市 (熊本県)	25,411	12.4	38.4	宇城市 (熊本県)	59,756	11.1	26.1

※ 人口は、2015年国勢調査によるものです。

出水市の財政状況を**全国共通の指標**でお知らせします！

『**主な財政指標**』は次のとおりです。

	2018年度	2017年度	類似団体平均 (2017年度)
財政力指数	0.40	0.39	0.51
経常収支比率 (%)	94.0	92.4	91.5

財政力指数とは
基準財政収入額(標準的な状態で入る税収等)を基準財政需要額(標準的な行政を行ったときに市に必要とされるお金)で割った数値です。収入額が需要額より大きいと「1」を超え、数値が大きいほど財政力が強いことを示します。

経常収支比率とは
経常的な支出に充てられた財源が、経常的な収入のうちどれくらいであったかを示す割合です。比率が低いほど財政に自由度があることを示します。

類似団体は
本市と同程度の市と財政状況を比較するための尺度で、地方公共団体を「人口」と「産業構造」で分類しています。近隣では、日置市、熊本県宇城市、宮崎県日向市等が同じ分類となっています。